

乙女スタイルの授業づくり例

5年 内容項目C 規則の尊重 教材名「ふくらんだリュックサック」

■本時のねらい：きまりを守り、進んで公共の場を大事に使おうとする態度を養う。

学習活動	授業の実際
<p>1 公共施設の様子や使い方について発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; background-color: #f4a460; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center; margin: 0;">課題（めあて）の提示</p> </div> <p>2 教材「ふくらんだリュックサック」を聞いて、考えたことを出し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちと教材を関連付けるため、乙女河原の写真を示した。 <div style="margin: 5px 0;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; background-color: #fff; width: fit-content;"> <p style="margin: 0;">写真を見て、どう思いますか。</p> </div> </div> <div style="margin: 5px 0;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; background-color: #fff; width: fit-content;"> <p style="margin: 0;">乙女河原だ。パーベキューの後みたいで、散らかっているな。</p> </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・すぐにごみを拾わない「わたし」の気持ちに共感させながら本音を引き出した。 <div style="margin: 5px 0;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; background-color: #fff; width: fit-content;"> <p style="margin: 0;">「わたし」がすぐにゴミを拾わなかったのは、どうしてですか。</p> </div> </div> <div style="margin: 5px 0;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; background-color: #fff; width: fit-content;"> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が、落としたゴミじゃないから。 ・自分一人でも、全部は片付かないから。 </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・親子の様子や父親の言葉に「はっとした」わたしの気持ち考えさせた。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; background-color: #fff; margin: 5px 0; text-align: center;"> <p style="margin: 0;">中心発問：「わたしは、どんなことを考えたのだろう。」</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えをワークシートに記入し、意思表示ができるようにした。 <div style="margin: 5px 0;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; background-color: #fff; width: fit-content;"> <ul style="list-style-type: none"> ・「なんで自分は拾おうと思わなかったのだろう」と思ったんじゃないかな。 ・きっと、「自分は何もしてなくて、はずかしい」と思ったよ。 </div> </div> <div style="margin: 5px 0;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; background-color: #fff; width: fit-content;"> <ul style="list-style-type: none"> ・10年前の山を取り戻すぞと思った。 ・心の奥にお父さんの言葉が届いたと思う。 ・自分のごみじゃないのに、親子は拾っていてすごいと思います。 </div> </div> <div style="margin: 5px 0;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; background-color: #fff; width: fit-content;"> <ul style="list-style-type: none"> ・何気なく捨てているゴミが人を困らせていることに気がきました。 ・地域のゴミ拾いをするゴミゼロデーの日に、面倒で拾わないことがありました。 ・落ちていたゴミを見て見ぬふりをしました。次は拾おうと思います。 </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・公共の場所は、みんなの物なので大事に使うこと、一人一人が次の人のことを考えて気持ちよく使うことを話し、今後の意欲付けをした。
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; background-color: #add8e6; margin: 5px 0; text-align: center;"> <p style="margin: 0;">発問の工夫</p> </div>	
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; background-color: #f4a460; margin: 5px 0; text-align: center;"> <p style="margin: 0;">明確な意思表示</p> </div>	
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; background-color: #f4a460; margin: 5px 0; text-align: center;"> <p style="margin: 0;">話し合い活動</p> </div>	
<p>3 自分を見つめて書く。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; background-color: #add8e6; margin: 5px 0; text-align: center;"> <p style="margin: 0;">「自分」を振り返る時間の確保</p> </div>	
<p>4 ゴミでふくらんだリュックサック(実物)を見て、今後の自分に展望を持つ。</p>	
<p>課題（めあて）の提示：身近な公共の場である緑川（乙女河原）の写真を示し、学習の方向付けを図ることができ、本時を通して高めていきたい道徳的価値と向き合うことができた。</p> <p>話し合い活動：グループごとに意見を出し合い、他者の感じ方や考え方と向き合うことができた。一方で、発表時間や方法などで課題も残った。</p>	

「道徳ノート」の活用

内容項目と対応させてワークシートを分類

「どんな内容項目について考えたことなのか」が分かるように、ワークシートを内容項目ごとに色分けして分類し、「道徳ノート」に貼り付けています。



蓄積と継続、そして評価へ

前年度の「道徳ノート」は、学年が上がっても引き継ぎ、児童の心の変容を見ることができるようになりました。心の変容の経緯を残すことで、自己の成長を実感することができると考えています。また、児童の学習状況や道徳性に係る成長の様子を見取る材料にもなると考えます。

「道徳ノート」が、自分で創る「世界に一冊のノート」に

ワークシート以外にも、関連する他教科の学習シートやお礼の手紙なども貼り付けています。また、感想やメモを書き込んだりすることで、日常生活や他教科の学習と道徳の時間とのつながりが見えるようにしています。

どの内容項目と関連させて書いたり貼ったりするかを児童自身に決めさせることで、「世界に一冊の自分のノート」となり、大事に読み返す姿も見られます。

<視点2> 環境整備

掲示物（道徳コーナー）の工夫



ワークスペースの道徳コーナー



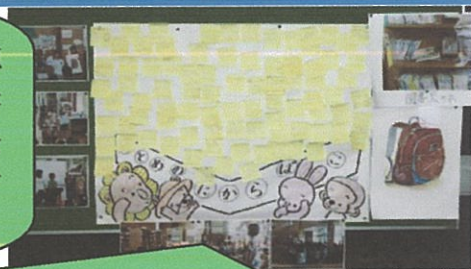
教室の道徳コーナー

学習した教材の挿絵に一言添えて、「道徳ノート」の分類と同じ色ごとに分類して掲示しています。あらゆる場面で振り返ることができます。

「乙女の宝集会」を通じた異学年間の交流



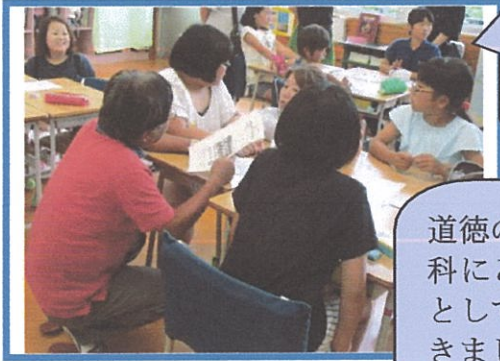
「乙女の宝集会」では、道徳の時間に勉強したことを学年ごとに発表しています。発表の後、全校児童で感想や考えを交流しています。



思いをカードに記入して伝える「乙女の宝箱」も設置しています。カードを掲示することで、自分が伝えたことを文字で残したり、大勢の前では伝えられなかった思いや、集会後、改めて感じた思いを伝え合ったりしています。

<視点3> 地域連携

「熊本の心」を活用した道徳の授業公開とGTの活用



保護者や地域の方々に来校していただき、全学年で「熊本の心」を活用した道徳の授業参観を行いました。保護者参加型の授業も実施しました。

道徳の時間や全校集会、各教科に乙女小校区の方にGTとして来ていただき、話を聞きました。積極的に地域の人材を活用することで、新たなつながりも生まれています。



「熊本の心」等を活用した親子読書の実施

月日	題材名	保護者読書 (子どもさんと一緒に読まれたの感想)	児童読書 (おうちのひとと一緒に読んだの感想)	感想
1 9月23日(木)	ふるさとをさがす			
2 11月20日(月)	電灯の誕生			
3 1月20日(木)	はたと鳥			
4 3月10日(水)	美しい景色を求めて			

* 毎月日が付く日はノーテレビデーです。日にちも変更してありますが、9の付く曜日の日でも構いません。他に興味深い題材があれば、差し替えても構いません。

ノーテレビ・ノーゲームデーに合わせて、「熊本の心」や「わたしたちの道徳」の読み物教材を親子で読書する機会を設けています。子どもたちと保護者の共通の話題にすることで、自分自身を見つめ直したり、自分の親や地域のことを見つめ直したりする機会になると考えました。また、学校で取り組んでいることの啓発にもつながりました。

☆成果と課題☆

- 「乙女スタイルの授業づくり」について職員間で共通理解を図ったことで、単なる話し合いや登場人物の心情の読み取りではない道徳の時間へと質的転換を図ることができた。児童が自分を見つめ、生き方について考えを深めるきっかけになっている。
- 「道徳ノート」を継続し蓄積することで、児童の心の変容や成長の跡を残すことができ、学習状況や道徳性に係る成長の様子を把握することができるようになった。
- 昨年度までの反省を踏まえて環境整備や地域連携に取り組んだことで、道徳の時間だけでなく、学校教育活動全体で進める道徳教育であることを地域にも発信することができた。
- ▲多様な指導方法の活用を進める中で、教材をどのように使い、どう発問を組み立てていくのかという授業の本質の部分の重要性を、改めて感じられた。
- ▲道徳の教科化に向けて、子どもたちの心の変容の把握や評価の方法が課題と考える。本校では、「道徳ノート」を効果的に活用することで、児童がいかに成長したかを受け止め、励ますことができるように研究を進めていきたい。